

令和5年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会

「大学間連携・コミュニティの可能性を考える：  
最新事例をまじえて」

これからの学術情報システム構築検討委員会  
ユーザーグループ運営作業部会

これからの学術情報システム構築検討委員会  
ユーザーグループ運営作業部会 主査  
安達 匠 (國學院大學図書館)

# 「これからの学術情報システム構築検討委員会」とは

- 「これからの学術情報システム構築検討委員会（これから委員会）」

本委員会は、「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化」について企画・立案し、学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動の推進を目的に設置されました。

「これから委員会」ホームページより

# 【ユーザーグループ：本運用】

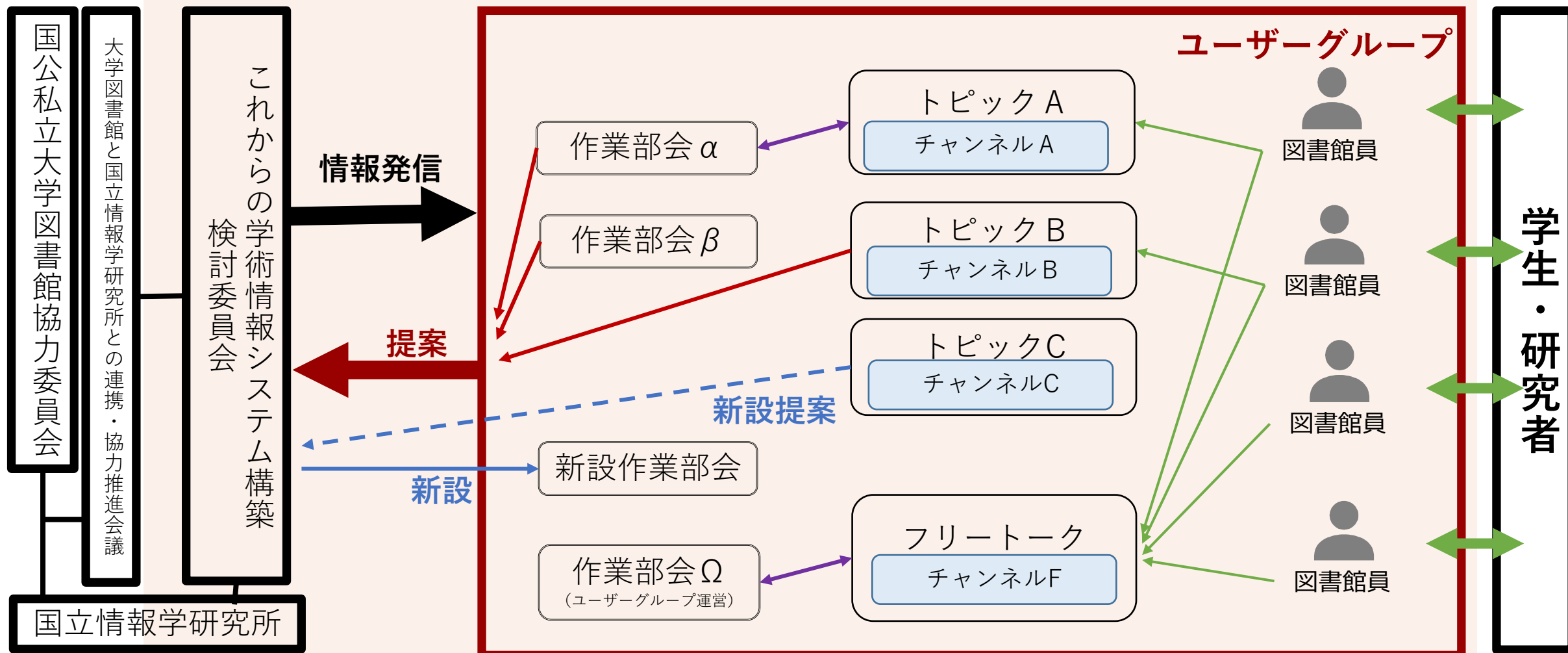
「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）  
（システムモデル検討作業部会\_安達 匠（國學院大學））

図書館システム・ネットワーク

←→ テーマによる関連

← 提案

← 提案に基づく作業部会設置



# ユーザーグループとは

- ユーザーグループとは、学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を推進するために、「意見や情報の交換」、「共通課題の解決」、「人材の育成、能力開発」などに関わる活動を行うグループです。

「これからの学術情報システム構築検討委員会」ホームページより



# 「ユーザーグループ」開始まで

1. 「これからの学術情報システム構築検討委員会」において、前2部会を再編して、2019年に
  - 「システムモデル検討作業部会」
  - 「システムワークフロー検討作業部会」の2部会が発足
2. 2022年1月「第7回システムモデル検討作業部会」で、“コミュニケーション強化モデルの提案”

# 「ユーザーグループ」についてこれまでの発表①

## コミュニケーション強化のための提案

1. 国立情報学研究所主催「学術情報基盤オープンフォーラム」（2022年6月2日）  
「ひろがる・つながる、その先へ：学術研究プラットフォームとこれからの学術情報システム」  
「参加型でつくる大学図書館システム・ネットワーク」  
システムモデル検討作業部会（公立はこだて未来大学情報ライブラリー）  
栗谷禎子氏



**「情報や課題の共有、意見交換の場として、  
ユーザーグループを作る」 !!**

# 「ユーザーグループ」についてこれまでの発表②

## ユーザーグループの具体化

2. 図書館総合展 国立情報学研究所主催「NIIフォーラム3」（2022年11月15日）

「みんなで考えよう、これからの学術情報システムで実現を目指すこと」～これからのメタデータの在り方とそれを支えるコミュニティ～

「ユーザーグループについて —ユーザーグループが始まります—」

システムモデル検討作業部会（國學院大學図書館）

安達 匠



## 「ユーザーグループ試行版の稼動」

# ユーザーグループの役割・メリット

- これからの学術情報システム構築検討委員会、「（大学）図書館システム・ネットワーク」の参加機関とそこに所属する職員が、機関、地域、担当を越えて、意見や情報の交換を行う。
- 各機関が抱える課題や要求が顕在化され、共通課題の解決を図ることができる。
- 継続することで、学術情報コミュニケーションに関わる人材の育成、能力開発の場となる。

「参加型でつくる（大学）図書館システム・ネットワーク」（2022年6月2日）  
（システムモデル検討作業部会\_栗谷禎子（公立はこだて未来大学））



# ユーザーグループの活動

- A) SNS「Discord」での情報交換・意見交換
- B) オンラインイベント（ワークショップ・講習会等）
- C) ユーザーグループ発議で新たな作業部会を発足

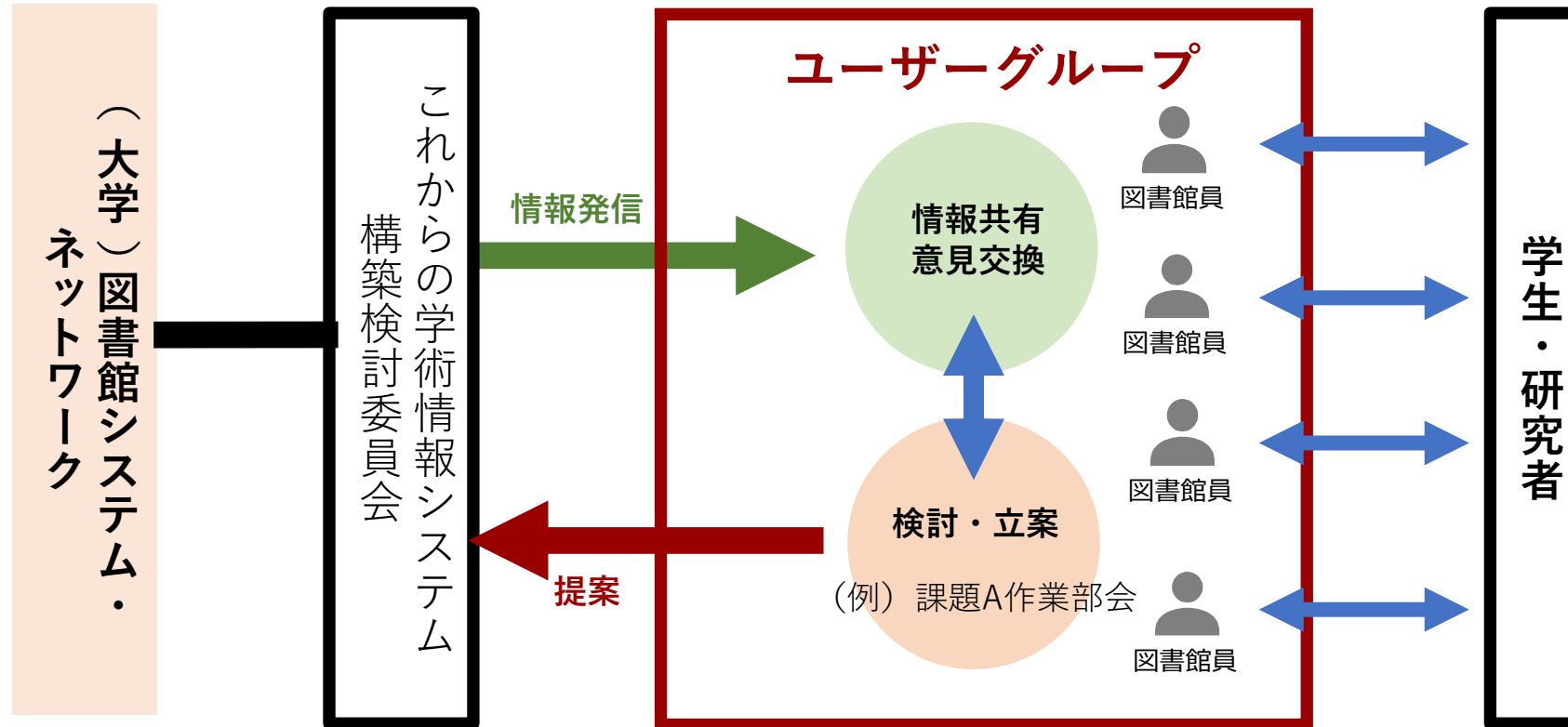
## ユーザーグループ

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/usergroup>



「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）改  
（システムモデル検討作業部会\_安達 匠（國學院大學））

# ユーザーグループ概念図 (小山委員長簡略版)



# ※再掲【ユーザーグループ：本運用】

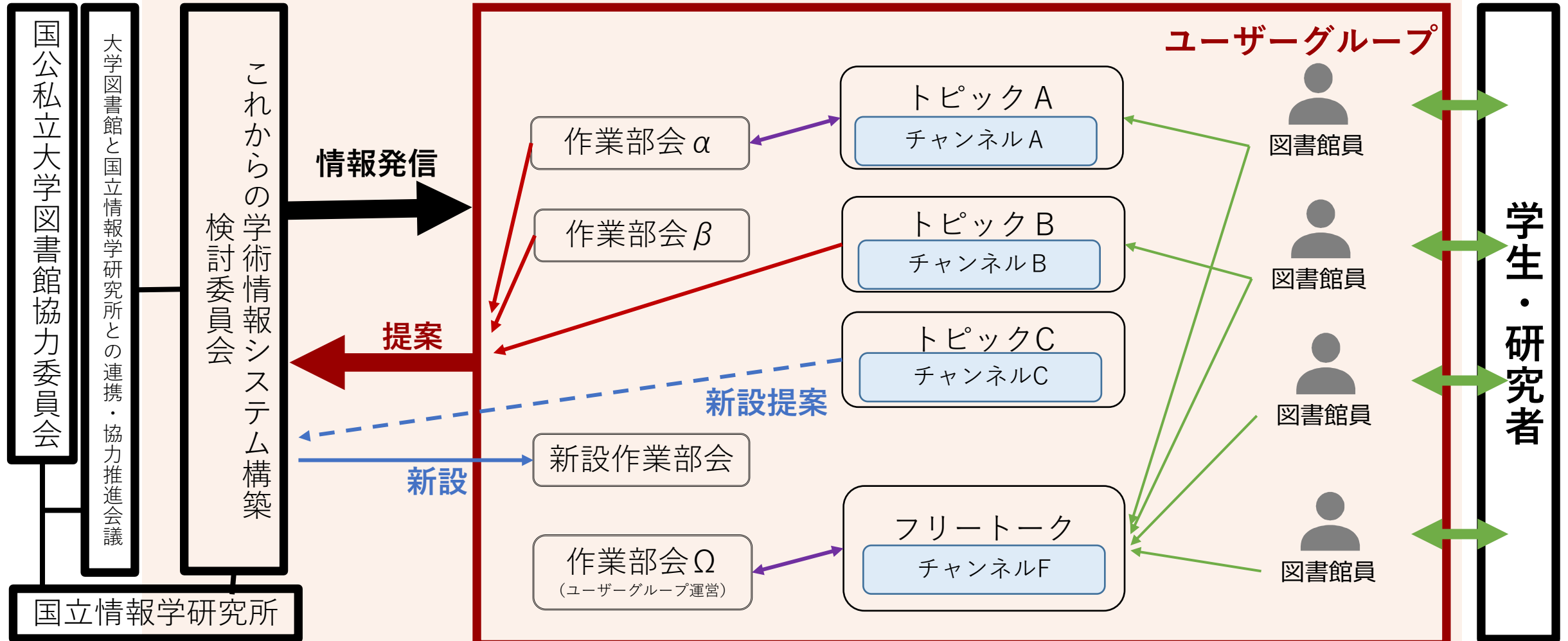
「ユーザーグループについて」（2022年11月15日）  
（システムモデル検討作業部会\_安達 匠（國學院大學））

図書館システム・ネットワーク

←→ テーマによる関連

← 提案

← 提案に基づく作業部会設置



# ユーザーグループ本運用まで①

## A) SNS「Discord」

1. 「これから委員会ユーザーグループ（仮）」としてのサーバー立ち上げ 2022年9月1日
2. チャンネルの最初の書込み（#フリーストーク）  
2022年10月6日
3. 図書館総合展「NIIフォーラム3」試行開始！  
2022年11月15日
4. NII「学術基盤オープンフォーラム2023」本稼動宣言！  
2023年5月29日

# ユーザーグループ本運用まで②

図書館総合展「NIIフォーラム3」2022年11月15日

## **B) ワークショップ：**

「みんなで考えよう、これからの学術情報システムで実現を目指すこと」

Gather.town（ビデオチャットプラットフォーム）

- ① 【NCR2018】 ROOM
- ② 【メタデータ & 共同調達・運用】 ROOM

# ユーザーグループ本運用まで③

国立情報学研究所「学術基盤オープンフォーラム2023」

これから委員会トラック

「ひろがる・つながる、その先へ：共同・協働のネットワークで届ける学術の知」

2023年5月29日

## Discordを継続して運用

- 委員会メンバー・部会メンバーから積極的に発信を行い、新陳代謝により活性化させる
  - ✓ ユーザーからの提案を汲み取れるように運用の活性化
- ファシリテーター
- 「ユーザーグループ運営作業部会」が担当
  - ※2023年4月より「システムモデル検討作業部会」から発展的改組

# ユーザーグループの現在①

## A) SNS「Discord」

- 登録者数： 479名（11月8日現在）
- 稼動チャンネル
  1. 日本目録規則2018の適用について（旧洋書適用）
  2. dx化時代の図書館システムガイドライン
  3. 統合的発見環境の整備（予定）
  4. 国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進
  5. フリートーク
  6. news\_bot\_cat/ill\_これから委員会（配信のみ）

# ユーザーグループの現在②

図書館総合展フォーラム（10/30（月））

## B) 「ユーザーグループSNSイベント」

- ①NACSIS-CATへのNCR2018適用（メタデータ流通の高度化）
- ②DX化時代の図書館システムガイドライン
- ③統合的発見環境の整備 -ILLを中心に-
- ④国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進

↑各イベントは、

「システムワークフロー検討作業部会」の班活動



# ユーザーグループの現在③

## システムワークフロー検討作業部会 2023 年度活動計画

第36回 これからの学術情報システム構築検討委員会 配付資料（2023年6月23日）より

- (1) 国内電子ブックの目録化と国外電子ブックへの対象拡大の検討  
↑ [④国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進](#)
- (2) 電子リソースデータ共有  
↑ [④国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進](#)
- (3) 国内デジタルアーカイブの流通促進  
↑ [④国内電子ブック & デジタルアーカイブのメタデータ流通促進](#)
- (4) メタデータ流通の高度化  
↑ [①NACSIS-CATへのNCR2018適用](#)
- (5) 統合的発見環境の整備  
↑ [③統合的発見環境の整備 -ILLを中心に-](#)
- (6) 図書館システム整備  
↑ [②DX化時代の図書館システムガイドライン](#)
- (7) 共同システムの安定運用の継続  
↑ [②DX化時代の図書館システムガイドライン](#)

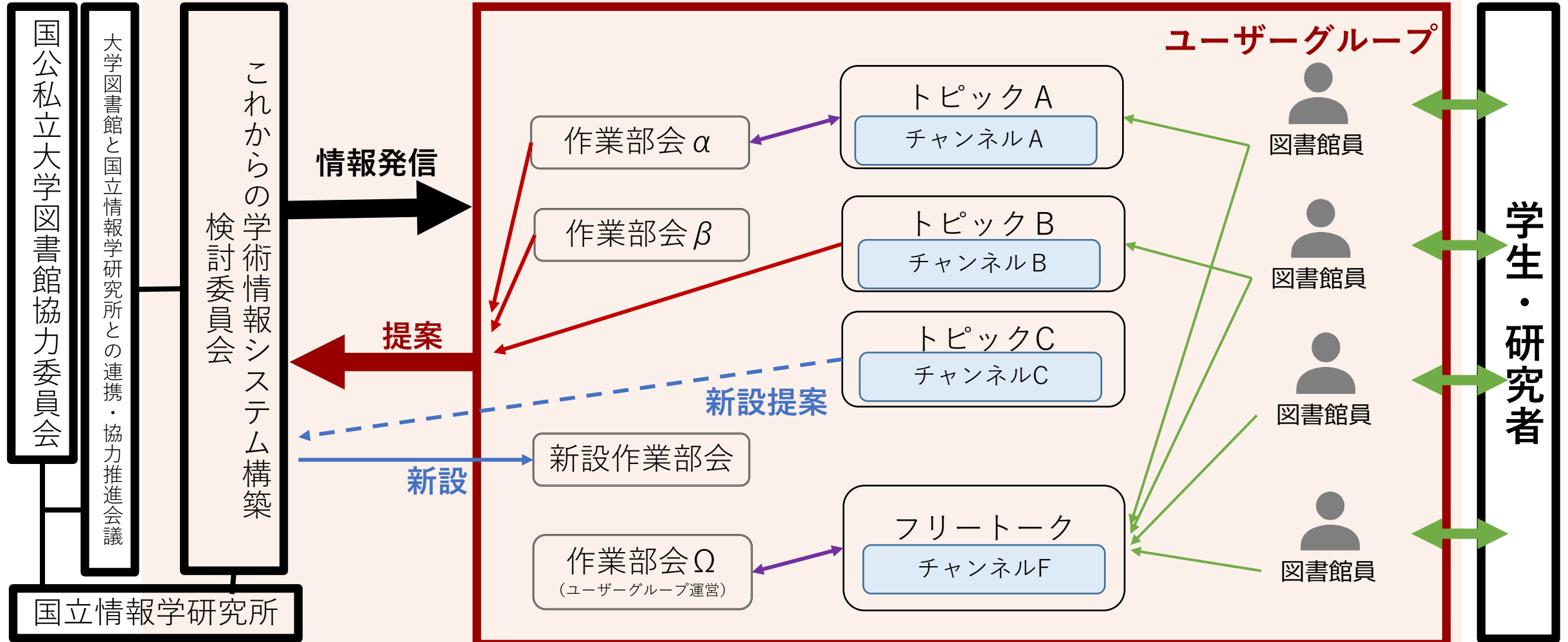
# ※再々掲 【ユーザーグループ：本運用】

図書館システム・ネットワーク

←→ テーマによる関連

← 提案

← 提案に基づく作業部会設置



# ユーザーグループの現在④

## ユーザーグループツール：SNS「Discord」

### • 稼動チャンネル

1. 日本目録規則2018の適用について  
↑ [①NACISIS-CATへのNCR2018適用](#)
2. dx化時代の図書館システムガイドライン  
↑ [②DX化時代の図書館システムガイドライン](#)
3. 統合的発見環境の整備（予定）  
↑ [③統合的発見環境の整備 -ILLを中心に-](#)
4. 国内電子ブック&デジタルアーカイブのメタデータ流通促進  
↑ [④国内電子ブック&デジタルアーカイブのメタデータ流通促進](#)
5. フリートーク
6. お知らせ
7. news\_bot\_cat/ill\_これから委員会

ご清聴ありがとうございました。